

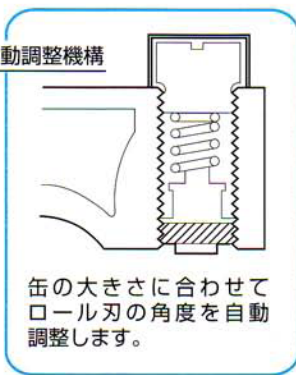
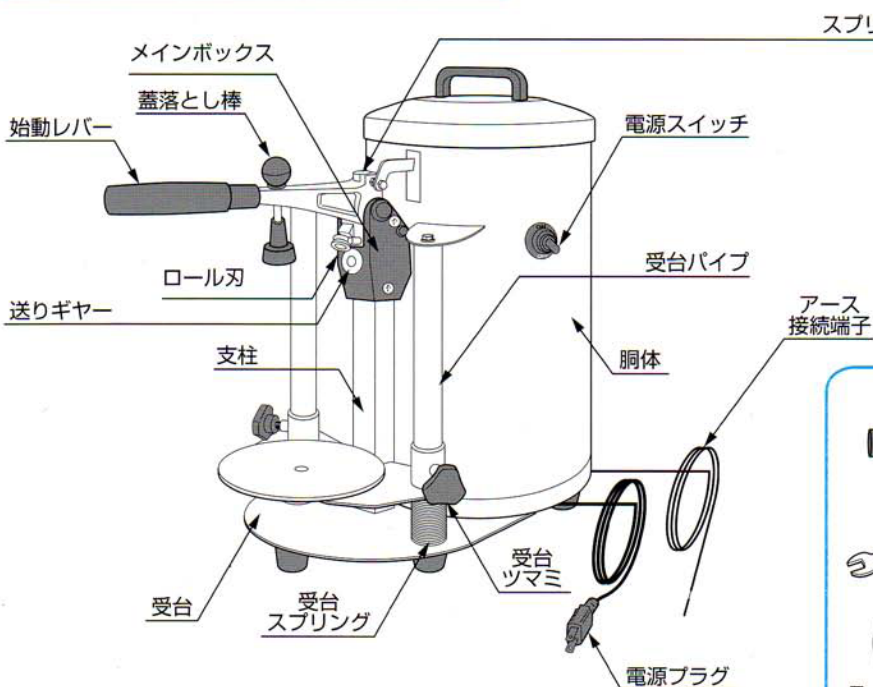
IDEAL 電動缶切機 EC-1 SV

～この取扱い説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。また、大切に保管下さい。～

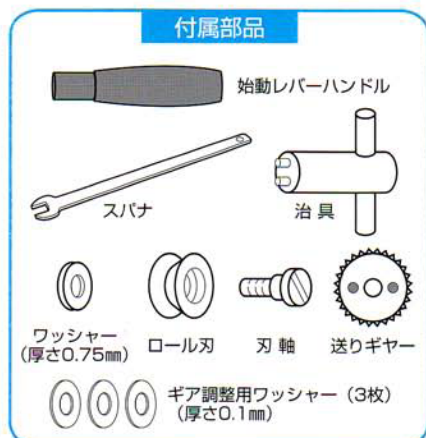
このたびは電動缶切機 EC-1 SV をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合がありましたら、販売店又は当社宛ご連絡下さい。

- この電動缶切機は国内食缶規格ロング1号缶から6号缶まで開缶できます。
- 缶の巻締部の形状が国内食缶規格と異なる輸入缶については、弊社での調整が必要な場合がありますので、その際は、事前に販売店又は当社宛ご相談下さい。
- 修理並びに交換部品等につきましても、販売店又は当社宛ご相談下さい。
- 本商品の取扱いについては、当社ホームページ(<http://www.ideal-shinkousha.co.jp>)でも、動画にてご紹介しておりますので、ご覧下さい。

EC-1 SV各部の名称



付属部品



※本体と付属部品が同梱されておりますので、ご使用前にご確認下さい。

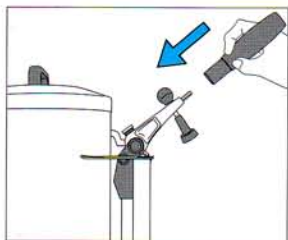
EC-1 SVの仕様

- 消費電力 130/140W
- 開缶できる缶 $\phi 153 \times H265 \text{ mm} \sim \phi 74 \times H59 \text{ mm}$
- 商品サイズ 幅290×奥行520×H550 mm
- 重量 約11kg
- 主要部品の材質

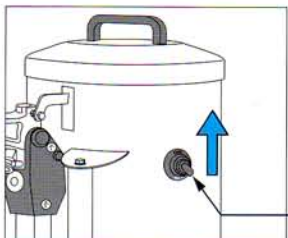
胴体	18-0ステンレス鋼	受台ツマミ	ABS樹脂
駆動軸	18-8ステンレス鋼	メインボックス	亜鉛ダイカスト、軸受:18-8ステンレス鋼
支柱	18-8ステンレス鋼	ロール刃	鉄(焼入れ)、ニッケルメッキ仕上げ
受台パイプ	18-8ステンレス鋼	送りギヤー	鉄(焼入れ)、クロームメッキ仕上げ
受台	18-8ステンレス鋼	蓋落とし棒	66ナイロン、軸:18-8ステンレス鋼
受台スプリング	18-8ステンレスバネ鋼	始動レバー	亜鉛ダイカスト(クロームメッキ仕上げ)、ハンドル:ポリアセタール

EC-1 SVの使い方

1

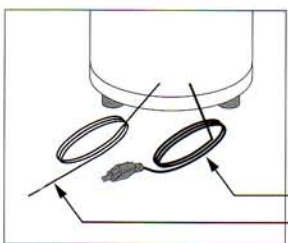


付属部品に同梱されている始動レバーハンドルをレバーに取り付けて下さい。



プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“ON”にすると開缶ができる状態になります。

電源スイッチ

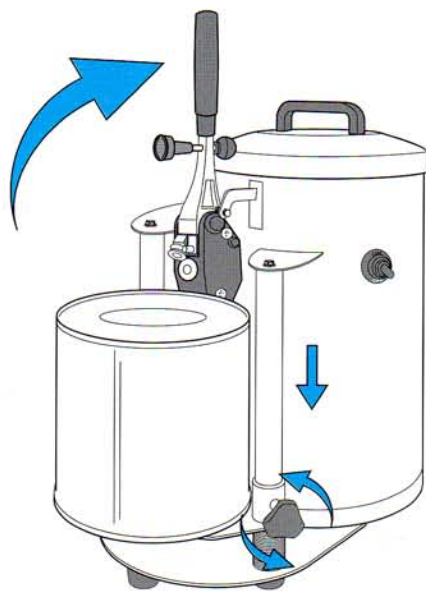


注意：胴体の背面にアース線がありますので、ご使用前に必ず適切に接続して下さい。

電源プラグ

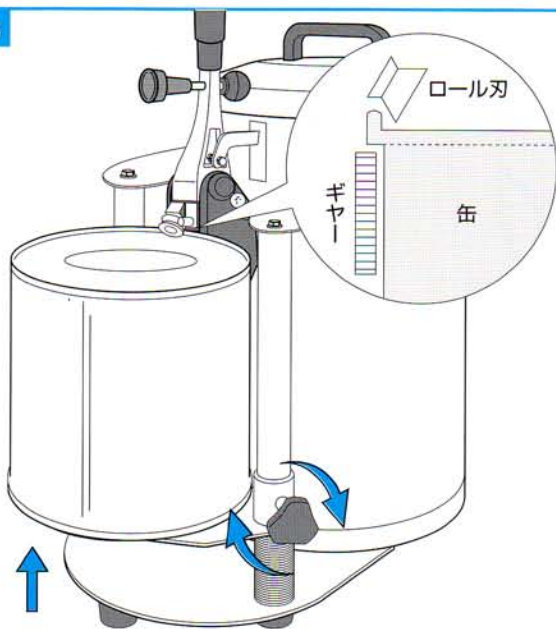
アース接続端子

2



- 電源スイッチを“OFF”にして、始動レバーを起こします。
 - 両サイドのつまみを緩め、缶を受台(丸皿)の上のにのせます。
 - その状態で受台を一旦下まで下げます。
- ※1号缶の場合は缶(底部)の巻き締め部内側に丸皿が納まるようにのせて下さい。2号缶～6号缶の場合は、丸皿の奥中央部にのせて下さい。

3

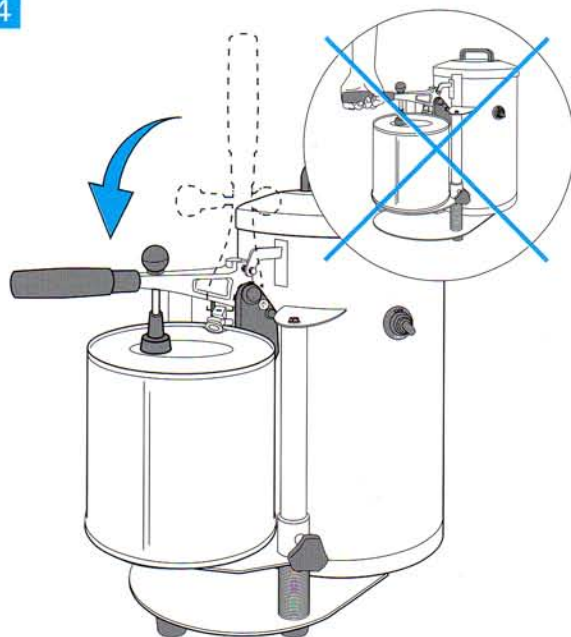


○拡大図のように、缶の巻き締め部の下側が送りギヤの上部にのる位置まで受台を上げて下さい。

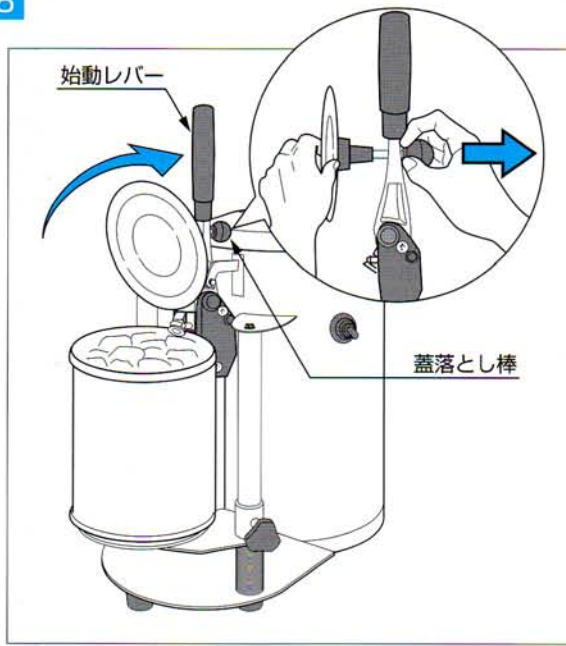
※のる位置より下に合わせると空回りの要因となり、上に合わせると、ロール刃と送りギヤに負担がかかりすぎ、切粉発生の要因になります。

○その位置で両サイドのつまみを締めて固定して下さい。

4



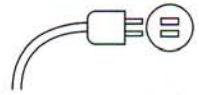
- 電源スイッチを“ON”にします。始動レバーを倒すとスイッチ“ON”で開缶を始めます。
- ※始動レバーを手で押さえたままの状態では缶を切らないで下さい。ロール刃と送りギヤに荷重が加わりすぎ、故障の原因となります。



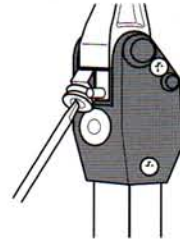
- 開缶後、始動レバーを起こすとスイッチが切れます。
 - 切れた蓋はマグネットに吸い付きますので、その蓋を取り外す際は片手で蓋をつまみ、「蓋落とし棒」のつまみを外側に引っ張ると簡単・安全に外せます。
- ※切り終えた缶の蓋で手を切らないよう充分に注意して下さい。

ロール刃の交換方法

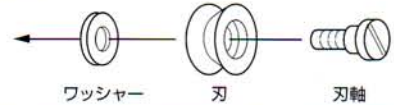
- ① プラグをコンセントから抜いて、電源を切って下さい。



- ② ドライバーを使用してロール刃を外します。



- ③ 添付スペア用のロール刃、刃軸、ワッシャーを下図の順で付け替えて下さい。

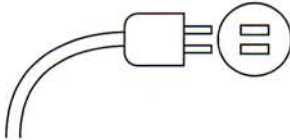


ロング1号缶を開缶する場合

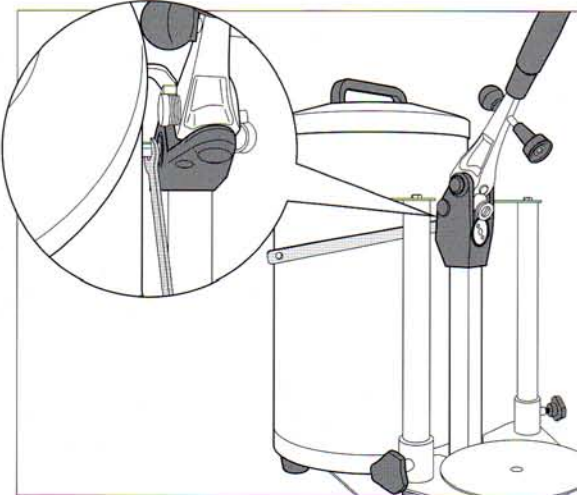
- 受台パイプの上部ネジをレンチ(8号)で外し、そこから受台スプリングのみを取り外して下さい。
- 受台スプリングを取り外すことにより、受台の高さがロング1号缶にも対応できるようになります。

送りギヤーの交換方法

- ① プラグをコンセントから抜いて、電源を切って下さい。

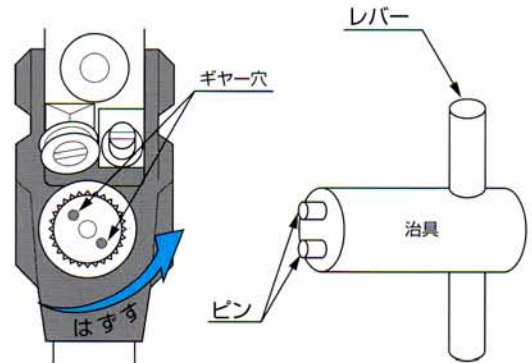


- ② 送りギヤーに直結している駆動軸のくぼみに付属品のスパナを押しあて回転しないようしっかりと固定して下さい。



- ③ その状態で、送りギヤーの穴に治具のピンを差込み、押し当てながら、矢印の方向に(左廻り)へ、レバーを廻すと、送りギヤーが外れます。

※送りギヤー軸に調整のため0.1mmワッシャーが入っている場合がありますので、元の位置に戻して下さい。



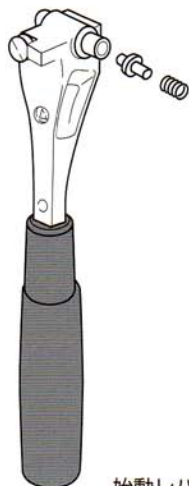
- ④ 送りギヤーは裏返してもう一度使用できます。
- ⑤ 送りギヤーを取り付ける時は②③と同様な手順で、送りギヤーの穴に治具のピンを差込み、右廻りに廻して、しっかりと締付けて下さい。

【注】ロール刃と送りギヤーは消耗品です。ロール刃と送りギヤーが消耗した状態で使用を続けると、空スベリや切粉発生の原因となったり、他の部品にも負担がかかり、故障の原因となりますので、できるだけ早めの交換をお勧めします。

空スベリするような場合の対応

受け台の高さ調整後においても、空スベリし、開缶できないような場合は、「送りギヤーの交換方法」に沿って、送りギヤーを取り外して下さい。送りギヤーの主軸に、ギヤー調整用ワッシャー(付属部品)を1枚(必要に応じて2枚、3枚)取り付けて、送りギヤーをセットして下さい。その状態で空スベリがなくなるか確認して下さい。

EC-1 SVの主な交換部品



始動レバー
(スプリング自動調整機構付)



送りギヤー



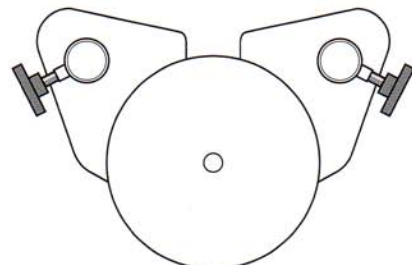
蓋落とし棒
(マグネット付)



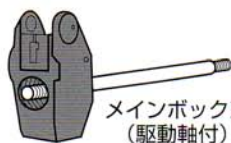
取手
(ビス付)



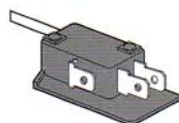
ロール刃



受台
(受台ツマミ付)



メインボックス
(駆動軸付)



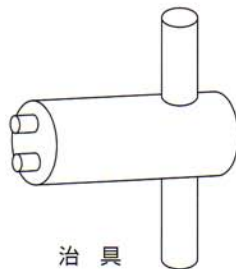
リミットスイッチ



ワッシャー
(スプリング付)



支柱



治具



受台ツマミ



足ゴム
(ビス付)

▲ 使用上のご注意

- 1) 食用缶の開缶以外には使用しないで下さい。
- 2) へこみ、歪みのある缶の開缶には使用しないで下さい。
- 3) 使用後は、部品(特にロール刃と送りギヤー)の汚れをきれいに洗い落して下さい。清掃後は、充分に水分を拭き取り、よく乾かして保管して下さい。
- 4) 分解や改造は絶対に行わないで下さい。故障の原因となり、修理ができなくなる場合があります。

※製品改良の為、予告なく仕様および外観を変更することがありますので、予めご了承下さい。